

## 2019年度 大会の基本的考え方（案）

平成 31 年 2 月 18 日

選手が自主的な技術向上やサッカーを好きになること（観ること、やること）を目指すとともに、指導者、審判員、保護者等チーム関係者が一体となって選手を支える。

このため、次の二点を基本として、大会を構成する（基本的に例年と同様）。

① 大会の基本となるリーグ戦は、できるだけチーム力が拮抗するように試合を組むこととし、U10～U12 まで連続するリーグ戦形式とする。

全体のスタートとなる U10 前期のみ抽選による組分けを行う。

② その他の大会は、リーグ戦等の成績を参考とした抽選により試合を組むこととし、チーム力に差があると思われる対戦カードが生ずることも可とする。

\* 全日本少年サッカー大会静岡県予選については、平成 27・28 年度に実施していた、ディヴィジョン下位のチームにもチャンスのあるトーナメント及びリーグ戦形式により全日少予選の中  
部支部代表を決める方式に戻す。

\* U12 基本リーグに参加したチームのうち、5 年生以上が 8 名未満のチームについては、合同チームを検討しても困難だった場合、U12 チャレンジリーグの参加辞退を認める。

\* チーム登録選手数が少ないために U12 基本リーグに参加していないチームについては、年度途中で登録選手が追加された場合には、U12 チャンピオンリーグ又は U12 チャレンジリーグへの参加を認める（要エントリー料）。ただし、この申し出は、NTT カップ予選のエントリー時点までとする。

## 2019年度 静岡サッカー協会 4種委員会 大会スキーム

### 1 青葉リーグ

開会式を4月、閉会式を2月に開催。H27まで9月下旬に開催していた後期開会式は行わない。

U12は4月から10月までは8人制リーグ（名称は基本リーグ）として実施。U11とU10はこれまでと同様の前後期制（U10前期のみ抽選による組分け）。

U12については、基本リーグ終了後、二種類のリーグを実施（開催時期：12月～2月）。NTT県大会に出場するチームによる「チャンピオンリーグ」（8人制）と、その他チームによる、中学生年代につなげるための「チャレンジリーグ」（11人制、スモールピッチ&スモールゴールとし、ディヴィジョン分けはU12基本リーグの結果による）。

閉会式は2月下旬を予定。表彰は、U12基本リーグ、U12チャンピオンリーグ、U12チャレンジリーグ、U11前・後期、U10前・後期の各ディヴィジョン（U10前期は各リーグ）優勝チーム。

閉会式で行うチャンピオンシップは、U12チャンピオンリーグ優勝チームとU12チャレンジリーグDIV1優勝チームによる11人制ラージピッチ、ラージゴールで開催。

### 2 全日少予選（県大会は11月、全国大会は12月末）

青葉リーグU12基本リーグの7月までの成績をもとに、9月上旬から予選トーナメントを実施する。上位2チームが中部支部代表となる。表彰はなし。

予選トーナメントは、差が開いた試合ばかりにならないように、1回戦はDIV4とDIV5のチーム、DIV3は2回戦から、DIV2は3回戦から、DIV1は4回戦からというイメージを基本に組む（7月までのリーグ戦成績により、すべてのチームを順番に並べて割り振る）。

予選トーナメント&決勝リーグに参加を希望しないチームは、3月の抽選時点で申し出る。

### 3 NTT予選（県大会は2月上中旬）

10月～12月上旬に開催予定。県大会に合わせて8人制。1次リーグ及び2次リーグを実施する。

### 4 その他

1チーム1日2試合を基本とするが、運営の都合により3試合も可とする。

U9県大会及びエコパカップは、予選を実施しない。出場条件を満たす希望チームの中から抽選で中部支部代表を決定する。